

# 早渕中学校だより

学校教育目標 学び合い 認め合い 高め合う

横浜市立早渕中学校

都筑区早渕二丁目4番1号

電話045-593-8841

令和6年3月25日発行 第13号

「学び合い 認め合い 高め合う」

校長 小田切 敦

日ごとにあたたかな、心地好い日差しを感じるようになってきました。

3月25日に令和5年度が終了して学年末・春季休業に入ります。前期の終わりは終業式と言い、後期(学年末)の終わりには修了式と言います。修了式というのは1,2年生それぞれの学年の教育課程(学校の教育活動すべて)を行い修める(おさめる)ことに対しての式典です。この修めるという言葉の意味はどのようなことでしょうか、辞書には次のように記載してあります。

「修める」1, 行いや人格を正しくする。心や行動が乱れないように整える。

2, 学問・学芸などを学んで身につける。

3, 壊れたところを補い直す。繕って整える。



3は「修繕」などの意味で使われるので中学校での修了の意味とは違いますが、2の学問・学芸を修了するということがわかりやすいのではないのでしょうか。しかし、中学校は学習だけが学びではありません。学級活動や委員会活動、様々な行事などでそれぞれの目的に向かって正しく行動し、より良い人間関係を築けるようにすることも中学校での学びの一つです。1の「行いや人格を正しくする。心や行動が乱れないように整える」はまさに学校教育での修了の意味の1つといえます。学校教育目標の「学び合い」「認め合い」「高め合う」は早渕中学校の教育課程を修了するための大きな目標です。この一年を振り返り、来年度に向けてそれぞれが「修める」ことができるようしっかりと目標に向かってほしいと思います。

## 〈 学 年 よ り 〉

### 1年

嬉しい事や楽しい事、つらい事などの毎日の積み重ねが、皆さんを成長へと導きます。新年度の新しい出会いや、後輩との関わりを大切にしましょう。

### 2年

中学生は誰でも成長するチャンスをもっています。特に中学3年生は自分を伸ばす機会がたくさんあります。ピンチをチャンスに変えて良い成長の機会にしていってください。

## 第14回 卒業証書授与式

令和6年3月12日、第14回卒業証書授与式が挙行されました。今年度の卒業生は球技大会や校外学習などの多くの行事で雨に見舞われた学年でしたが、卒業式も雨となってしまいました。屋根に強く打ち付ける雨音の中、「雨降って地固まるの言葉通り、私たちは一雨ごとに絆を深めていきました」「雨上がりの虹に向かって歩み続けます」という卒業生代表の言葉は、学年全体の強いつながりと、未来への決意を感じさせるものでした。早渕中学校卒業生としてそれぞれの世界で大きく羽ばたいてくれることと思います。

予行や準備等だけでなく、日常の学校生活の中でも、卒業生は在校生の皆さんに大きく支えられていました。卒業生に関わったすべての皆様、いままで本当にありがとうございました。(3学年職員一同)

